

DAX93-01_ゼミ進行予定（代替措置）【SK2】

科目

図書館情報学研究(図書館システム・オープンデータ)

担当：大向、中山

連絡先 中山正樹: mskn55@gmail.com

改版履歴

2020年5月7日 情報探索に関するユーザーニーズ

2020年4月25日 図書館でのDX対応にフォーカス

2020年4月18日 対面授業がないことを前提に組み直し

2020年4月3日 DAX92_Seminar_Planから抜粋

目標

到達目標

図書館情報サービスシステムの発注側の組織員の立場で、効率的・効果的なシステムを適正に調達ができるスキルを理解する

今後5～10年後の社会に対応した図書館サービスシステム、デジタルアーカイブの構築に必要なスキルの把握と、サービス要件を定義するスキルを認識する

サービスの企画・調達の担当者として、タスクに必要な基礎及び応用のレベルのスキル・知識を認識する

図書館員として、利用者の情報活用方法を適切に支援するためのITリテラシーを持つ

利用者サービス担当者として、ITパスポートレベルの知識を持つ

具体的なテーマ【例】

図書館でのデジタルトランスフォーメーション対応

・コロナウイルス等の対策のために、テレワーク等による働き方改革が加速されつつある。・社会では知識の収集、整理、発信をリモートで行うことが一般化するとされる。・そのよ

ka

["ka" のノート](#)

【参考】電子図書館中期計画2004策定時でのイメージ

情報探索の行動パターンと提供すべきサービス

①②③マ (2020年4月11日) 予定分

今回資料

【2012年】【冊子】未来の図書館を作るとは【2012年3月長尾真】【pdf】

【2017年】AIを活用した「知の共有化」システムの方向性:「未来の図書館を作るとは」の実現に向けて

参考資料

【参考資料】2014年度同志社大学図書館司書課程講演会記録「見たことのない図書館を考える」

夢の図書館を目指して：20年後の知識システム【長尾真】

電子図書館事業20年を迎えた新たな方向性の模索【中山】

ITパスポート教則本【例示】

キタミ式イラストIT塾ITパスポート 令和02年

進捗目標

ゼミ全体のテーマ構成の概要の認識

1

2

1



Risk



Risk



Risk



Defer

1 / 2 ページ

Defer

Discuss

Discuss

https://bluemoon55.github.io/Sharing_Knowledge/Digital_Arc/

<http://doi.org/10.14988/pa.2017.0000016828>

https://bluemoon55.github.io/Sharing_Knowledge/Digital_Arc/

https://bluemoon55.github.io/Sharing_Knowledge/Digital_Arc/

<https://iss.ndl.go.jp/books/R100000002-I030111278-00>

うな時代のニーズを反映した利用者向けの図書館サービスの要件は？ ・ 図書館員がバックオフィスで利用するサービスの要件は？ ・ そのような要件を満たすシステムを構築するために誰がどんなスキルを持って何をすべきか？

[hives/Deliverables/Manuscript【2012年】【冊子】未来の図書館を作るとは【2012年3月長尾真】.pdf](#)

[hives/Deliverables/Manuscript【2014年】シンポジウム「見たことのない図書館を考える」【長尾真】夢の図書館を目指して 20年後の知識システム【2014年度同志社大学図書館司書課程講演会記録】.pdf](#)

[hives/Deliverables/Manuscript【2014年】シンポジウム「見たことのない図書館を考える」【中山】電子図書館事業20年を迎えた新たな方向性の模索【2014年度同志社大学図書館司書課程講演会記録】.pdf](#)